

1. 活動テーマ 埼玉県支部 CPD 行事「令和 6(2024)年度技術士資格取得説明会」
2. 実施日時 2024 年 3 月 16 日(土)13:30- 16:30(13:10 受付開始)
3. 実施場所 武蔵浦和コミュニティセンター第 6 集会室
4. 参加者、人数 20 名(受講者 14、講師 3、運営担当者 3)、受講者内訳:技術士(会員・非会員)3、技術士補・修習技術者 10、一次試験受験希望者 1
5. 実施事項 司会:CPD 委員 白岩信裕(化学、総監)

(1)13:30~13:35 開会挨拶 埼玉県支部支部長 石田正雄(金属)

(2)13:35~14:40 講演「技術士制度の重点事項の説明 ～制度及び技術士試験の概要～」

伏見コンサルティングオフィス 伏見隆夫氏(経営工学、総監)

技術士制度を技術士法に則り、技術士の定義、技術士が担う義務と責務及び 21 部門の専門領域に分かれることと紹介し、技術士資格取得による多岐に渡るメリットが示された。「技術士への道」として 6 ステップが示され、第 1 ステップの一次試験受験では、受験申込の仕方と基礎、適性、専門とに分かれた試験科目とその合否基準等が示され、第 2、3 ステップの一次試験合格後の業務経験修得では、技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)を業務経験を通じて備えることの重要性が示された。第 4 ステップの二次試験受験では、試験が筆記と口頭と二つあり、筆記は必須科目と選択科目に分かれ、記述論文ではコンピテンシーが問われると述べられ、口頭試験では業務経歴と筆記試験で述べた内容が問われると説明がなされた。第 5、6 ステップの二次試験合格後の技術士登録では、その手続きが示された。また総合技術監理部門の受験についての説明もなされた。

(3)14:45~15:10 講演「令和6年度技術士資格取得説明会～諸注意事項について～」

村山技術士事務所 村山 肇氏(金属)

令和 6(2024)年度試験日程、一次試験・二次試験の概要、試験合格率の推移、筆記試験における注意事項と携行具が紹介され、二次試験の設問は全技術部門共通する問いかけを基になされる。口頭試験は、実務経験証明書記載の業務内容を問うことが多く、実務経験証明書は重要であるので、その記載上の注意点や勤務先の業務経歴証明の受け方と記載例が話された。最後に、技術士資格獲得のためには、挑戦への家族の理解を得、「絶対合格する」という強い意志を持って、仲間と共同で勉強し切磋琢磨されることを奨励すると話された。

この後休憩 10 分間

(4)15:20~16:00 講演「苦節十年の技術士体験談」

一般財団法人建材試験センター 若林和義氏(建設)

自己紹介の中で技術士資格取得に至る経緯(受験歴)、取得動機と受験した際の環境が紹介された。一次試験は基礎科目、適性科目、専門科目別に分かれるが、それらの学習方法が紹介された。二次試験では、業務経歴の纏めと経歴票の書き方、専門知識、応用能力、問題解決能力等の論文(筆記)試験の学習方法が述べられた。最後に、受験に際し実際悩んだこととして、受験する環境の確保、モチベーションの維持継続であり、その解決のために苦心した内容が話された。

(5)16:00~16:25 質疑応答

受験に対する心構えや学習環境の整備と受験申込みの仕方などについて参加者から質問があり、講師から体験に基づき回答がなされた。

(6)16:25~16:30 閉会挨拶

CPD 委員会委員長 菅原宏(応用理学、総監)

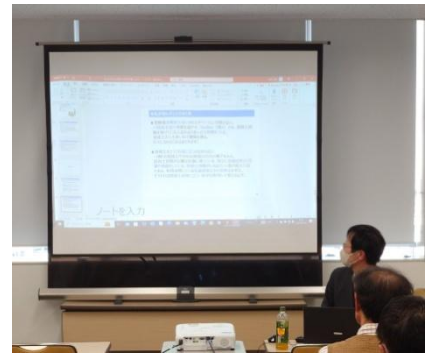
【講演者の説明の様子】



伏見隆夫氏



村山肇氏



若林和義氏

以上

(写真撮影:菅原宏 報告:白岩信裕)